事業シート（令和9年度予算）

事業名	21800　環境都市推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画、過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント				
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	4	森林・環境・エネルギー	市長公約	Ⅲ　まちを整える 二酸化炭素排出量実質ゼロ（脱炭素社会）の早期達成を目指します
担当課	森林・環境政策部　環境政策課	内線	2283		目	19	環境政策費			施策分野	(3)	自然環境・温暖化対策		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を促す。	概要	・環境審議会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による環境の保全や自然エネルギー利用の普及啓発 ・脱炭素先行地域づくり事業の促進

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
再生可能エネルギー自給率（実質）	未確定		92.4%
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割	52.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		548,433	278,887	1,018,463			
特定財源	国費（　脱炭素先行地域づくり事業補助金 10/10　）	539,000	271,665	1,017,000			
	県費（　）						
	その他（　駐車場使用雑入等　）		87				
一般財源		9,433	7,135	1,463			
新規・拡充	主な事業内容						
	環境審議会等の開催	478	243	483			
	脱炭素先行地域づくり事業補助金	539,000	271,665	1,017,000			
	快適環境づくり市民会議	310	198	310			
	環境政策アドバイザー	390	233	405			
	電気自動車用急速充電器の運営	8,000	6,219				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 1,066,100 増減 (d)-(c)
1,204,258			185,795
1,202,622			185,622
1,636			173

要求額	説明
741	
1,202,622	
315	
258	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・脱炭素先行地域づくり事業の実施 ①木質バイオマス熱電併給設備　3基設置 ②小水力発電所　測量・設計5箇所、水車設備設計3箇所 ほか ③セミナー・シンポジウムの開催、普及啓発動画・冊子・チラシの作成 ほか ・環境審議会の開催（3回） ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催（1回） ・環境政策アドバイザーからの助言・指導（2回）	
評価等	・脱炭素先行地域づくり事業について、木質バイオマス熱電併給設備3基の設置が完了した。また、セミナーやシンポジウムの開催等により普及啓発を図ることができた。 ・環境審議会の審議によって、環境施策の推進を図ることができた。 ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の審議によって、脱炭素先行地域づくり事業の課題や地域資源を活用した再生可能エネルギーの学習、議論、検討等への体制づくりについて意見をいただくことができた。 ・環境政策アドバイザーから新ごみ処理施設の水素活用等の助言をいただくことができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・環境基本条例及び環境基本計画の基本理念、将来像の実現に向けた取り組みを推進する。 ・2050市全域ゼロカーボンを目指して、脱炭素先行地域づくり事業による市内の脱炭素化に取り組む。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・脱炭素先行地域として小水力発電所の整備等に対する支援に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	21820　自然エネルギー普及促進事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	2	総務費
担当課	森林・環境政策部　環境政策課	内線	2283		項	1	総務管理費
					目	19	環境政策費

総合計画	重点戦略	方向性		
		ポイント		
	分野別	政策分野	4	森林・環境・エネルギー
		施策分野	(3)	自然環境・温暖化対策

根拠計画	環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅲ　まちを整える 二酸化炭素排出量実質ゼロ（脱炭素社会）の早期達成を目指します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進する。	概要	・市民や事業者による木質バイオマスなどの自然エネルギー設備の導入を促進する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
再生可能エネルギー自給率（実質）	未確定		92.4%
二酸化炭素（CO2）排出量（年間）	未確定		42万トン

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		23,190	17,347	9,790			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ 太陽光発電設備等設置事業費 10/10 ）	13,900	11,722				
	その他（ 飛騨高山ふるさと基金繰入金 ）	4,000	4,000	3,000			
一般財源		5,290	1,625	6,790			
新規・拡充	主な事業内容						
	木質バイオマス活用促進事業補助金	8,000	5,497	6,500			
	自然エネルギー活用支援	220	30	220			
	指定避難所太陽光発電等設備修繕・改修	1,000	98	3,000			
○	再生可能エネルギー地産地消促進事業補助金						
	自家消費型太陽光発電設備等導入補助金	13,900	11,722				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 増減 (d)-(c)
			9,400
147,003			137,213
			△ 3,000
147,003			140,213

要求額	説明
6,500	
220	
1,000	
139,203	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・ペレットストーブ等導入台数　55台 ・自家消費型太陽光発電設備等導入件数　21件	
評価等	・地域における自然エネルギー導入に向けて、研修会を開催した。 ・自家消費型太陽光発電設備等導入補助金については、21件（前年度と同数）の実績であった。	
次年度以降の考え方（担当課）	・市内のペレット工場やチップ工場から製造される木質燃料を活用し、木質バイオマスの需要拡大を図る。 ・第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー、気候変動への適応につながる取り組みを進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・再生可能エネルギーの地産地消に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	21850　生物多様性保全推進事業費			予算	会計	1	一般会計
					款	2	総務費
担当課	森林・環境政策部　環境政策課	内線	2283		項	1	総務管理費
					目	19	環境政策費

総合計画	重点戦略	方向性		
		ポイント		
	分野別	政策分野	4	森林・環境・エネルギー
		施策分野	(3)	自然環境・温暖化対策

根拠計画	環境基本計画、生物多様性ひだたかやま戦略、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。	概要	・自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 ・特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
特定外来生物防除活動団体数	3団体		－
特定外来生物防除活動参加者数（延べ人数）	198人		－

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		9,740	7,783	11,190			
特定財源	国費（　生物多様性保全推進事業費 1/2　）						
	県費（　生物多様性保全推進事業費 1/2　）	2,500	2,227	2,600			
	その他（　　）						
一般財源		7,240	5,556	8,590			
新規・拡充	主な事業内容						
	自然環境学習（五色ヶ原の森委託分）	3,220	2,144	4,180			
	特定外来生物の防除委託	4,760	4,455	5,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	9,800 増減 (d)-(c)
12,241			1,051
2,350			2,350
			△ 2,600
9,891			1,301

要求額	説明
5,017	
5,200	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・自然環境学習の開催　12校　497人 ・山の自然学校の開催　2回　24人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催　4回　42人	
評価等	・市内小中学校を対象として乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を行い、地域の自然とのふれあいの場を提供した。 ・特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 ・親子で参加できる山の自然学校を開催し、自然環境に対する意識の向上を図った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な生物多様性保全の取り組みの拡大を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	62300　自然公園等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	環境基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	6	商工費			ポイント				
担当課	森林・環境政策部　環境政策課	内線	2283		項	2	観光費		分野別	政策分野	4	森林・環境・エネルギー	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを守る、暮らしを便利にする基盤を整備します
					目	3	自然公園費			施策分野	(3)	自然環境・温暖化対策		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより、自然環境の保全と活用を図る。	概要	・国立公園、県立自然公園等における保護と適正な利用の推進 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の適正な利用と利用者の安全確保の推進

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割	52.6%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		152,424	115,910	139,369			
特定財源	国費（　地域未来交付金　1/2　）						
	県費（　山岳環境保全施設整備事業費 45/100、乗鞍スカイライン道路パトロール事業費 10/10　等　）	18,850	17,620	18,480			
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金、宿泊税　）	18,500	7,500	109,500			
一般財源		115,074	90,790	11,389			
新規・拡充	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	84,160	51,203	58,151			
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	35,904	34,413	35,675			
	登山道管理	16,431	15,698	13,820			
	県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金	11,500	10,343	11,500			
	ユネスコエコパークの推進	1,099	1,099	859			
	ジオパークの推進	2,000	1,990	1,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 103,600 増減 (d)-(c)
116,094			△ 23,275
2,000			2,000
18,893			413
			△ 109,500
95,201			83,812

要求額	説明
45,934	
39,207	
16,483	
11,500	
859	
	R8年度で終了

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み　2,204人 ・乗鞍スカイラインの入り込み推計　81,900人 ・岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会による活性化事業の実施	
評価等	・乗鞍山麓五色ヶ原の森については、積極的な情報発信等により多くの入込を確保するとともに、各種研修の実施によりガイドの質の向上に努め、高い満足度を得ることができた。 ・国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会など、国、県、関係団体等との連携により、地域活性化に向けた取り組みの検討や各種事業を実施し、地域の魅力の向上を図ることができた。 ・自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・引き続き、乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について、エコツーリズムの視点による利用促進のあり方に関する検討を進める。 ・中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協会のほか、地元関係団体等と連携を図り、自然保護と地域活性化の一体的な取組みを推進する。 ・御嶽山国定公園指定による、自然環境の保全と活用に向けた取り組みを推進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	